

原水禁世界大会始まる

上越からは3人参加 他にZOOMでも参加

原水爆禁止2024年世界大会広島大会が8月4日に始まりました。

今年の世界大会は、7月28日の福島大会を皮切りに、8月4～6日が広島大会、7～9日が長崎大会と続きました。

このうち、広島大会には上越市原水協

から3人が参加しました。また、この大会は世界各地からオンラインでも参加できることから、上越の地でも4日の開会総会にZOOMを利用して約10人が参加しました。

開会総会では、ロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナ・ガザ地区でのイスラエルによる空爆などが続く中、世界各国から参加した平和運動に取り組んでいる団体の代表が、それぞれに平和を希求する感動的なメッセージを披露しました。



3論点を基本に議論 通年議会・オンライン議会・倫理条例

議会改革推進特別委員会

市議会議会改革推進特別委員会は8月2日に2

回目の会合を開き、各会派で検討した議論の方向性や議会基本条例の改善点についての意見を出し合いました。

各会派からは、「通年会期導入時には議長の責務を見直す必要があるのでは」「同様に一事不再議（否決された事案は、その会期中には再び審議できない）の原則をどう取り扱うのか検討が必要」「情報通信技術の積極的利用を議会基本条例に入れるべき」「ハラスメントの防止も明文化を」などの意見が出されました。

ホームページをご覧ください。議員間討議や市民参画が不十分ではないか。議会事務局の人員拡充・強化充実が必要。通年会議制は議会の迅速な対応や、多様化している市民要望への対応の視点で重要だが、形式も複数あり、当議会の実情に合わせた形式を選択すべき。オンライン議会の導入は必要だが、合わせて障がいを持つ議員など多様な議員の議論参加を保障する取組も必要。最終的に、今後は、通年会期制、オンライン議会、政治倫理条例を中心に議論を進めていくという方向を確認しました。

橋爪議員が「小さな作品展」

橋爪法一議員は7月27・28の2日間、市内富岡のパーティオ上越ギャラリースペースで、これまで描きためてきたイラストの作品展「小さな作品展」を開催しました。

この展覧会では、日頃の議会活動や多くの人たちのふれあいの様子を巧みに描いた約2,000点の作品の中から厳選した40点ほどの作品が展示され、いずれも見人の心を打ちました。

また、すっかり専門家となったコウノトリの生態観察の記録写真もパネルとして展示されました。毎日ずっと見ていてこそその瞬間をうまく捉えた写真には、見学者をうならせていました。

橋爪議員はこの展覧会を振り返って、「作品展では、ネットでしか付き合いのなかった人との初めての出会いや数十年

ぶりの再会など、感激の出会いがいくつもありました。お客さん同士でのうれしい再会も目にしました。作品展をやって、本当に良かったと思います。」と語りました。



日本共産党上越市議員団ニュース
No.840 2024年8月11・18日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

「しんぶん赤旗」日曜版は11日号と18日号が合併号です。来週は配達がありません。あらかじめご承知ください。